

Time Schedule

13:30	開会・佐伯市長挨拶	佐伯市長 富高 国子氏
13:35	事例発表	<p>発表1 大分県佐伯市 小田 剛史氏 (小田開発工業株式会社 代表取締役社長)</p> <p>発表2 宮崎県延岡市 日高 慎太郎氏 (株式会社日高水産 代表取締役)</p> <p>発表3 宮崎県日向市 河内 宏祐氏 (河内造林 代表)</p> <p>発表4 大分県佐伯市 春山 昌信氏 (南部地域苗木生産者協議会 会長 / 春山林産 代表)</p> <p>発表5 大分県津久見市 水本 純平氏 (MIKANOVA 代表)</p> <p>発表6 大分県臼杵市 國枝 剛氏 (大分有機かぼす農園株式会社 代表取締役)</p> <p>発表7 大分県佐伯市 浪井 大喜氏 (浪井九天水産 代表)</p>
14:45	特別講演会	<p>「激変する海の時代に、 水産の生きる道を考える」</p> <p>スペシャルゲスト 上田 勝彦氏 (株式会社ウエカツ水産 代表取締役社長)</p>
15:30	休憩	
15:45	シンポジウム (公開討論会)	<p>スペシャルゲスト 上田 勝彦氏 (株式会社ウエカツ水産 代表取締役社長)</p> <p>ファシリテーター 行平 真也氏 (九州産業大学 地域共創学部 地域づくり学科 准教授)</p> <p>討論者 事例発表者 7名</p>
16:40	挨拶・閉会	

Access

開催場所: ホテル金水苑

〒876-0803 大分県佐伯市駅前2丁目4番13号

日向駅	JR日豊本線・特急にちりん	約1時間30分	佐伯駅
延岡駅		約60分	
津久見市	JR日豊本線(普通)	約24分	
臼杵市		約40分	



【お問い合わせ】佐伯市役所 農林水産部 水産課 Tel.0972-22-3226

日向市×延岡市×
津久見市×臼杵市×
佐伯市

NIPPO KAIGAN

日豊海岸産業経済 コンベンション

～儲かる
一次産業の推進～

令和7年

11/21 [金]

13:30～17:00

ホテル金水苑
本館2F光彩の間

大分県佐伯市駅前2丁目4番13号

MIYAZAKI/OITA

入場無料



目指すのは一次産業の
高付加価値化＝“稼ぐ”産業化。
日豊海岸の恵みを
“選ばれる価値”として磨き、
もっと遠くへ届けるため、
連携5市が生産・加工・流通・観光を
横断して集結。
現場の事例発表×公開討論で、
物流効率・輸出・販路の
課題と解決策を共有。
地域の強みを束ね、
売れる仕組みに変えていきませんか。



スペシャルゲスト
上田 勝彦
株式会社ウエカツ水産
代表取締役社長



ファシリテーター
行平 真也
九州産業大学 地域共創学部
地域づくり学科 准教授

事例発表者

【延岡市・水産業】

日高 慎太郎
株式会社日高水産 代表取締役

【佐伯市・林業】

春山 昌信
南部地域苗木生産者協議会 会長
春山林産 代表

【臼杵市・農業】

國枝 剛
大分有機かぼす農園株式会社
代表取締役

【佐伯市・農業】

小田 剛史
小田開発工業株式会社
代表取締役社長

【日向市・林業】

河内 宏祐
河内造林 代表

【津久見市・農業】

水本 純平
MIKANOVA 代表

【佐伯市・水産業】

浪井 大喜
浪井九天水産 代表

【主催】佐伯市、一般財団法人自治総合センター 【後援】総務省 【協力団体】大分・宮崎県境5市政協議会、日豊経済圏開発促進協議会、大分県漁業協同組合・大分県農業協同組合・佐伯広域森林組合



5市連携で、一次産業を“稼ぐ産業”へ。

スペシャルゲスト



上田 勝彦

株式会社ウエカツ水産
代表取締役社長

Ueda Katsuhiko

1964年島根県出雲市生まれ。長崎大学水産学部卒。

長崎での漁師生活ののち、25年間の水産庁勤務を経て、漁業と魚食のよろず相談会社「株式会社ウエカツ水産」を設立。

魚の鮮度保持技術の指導、地域加工品の開発、調理・食育関連の指導・講演、水産業を軸とした地域振興などに従事。「食は国なり」と位置づけ、島国として失ってはならないニッポンの魚食の復興と水産の振興を目指す。

漁師、市場、スーパー、飲食店、家庭の食卓、生産から消費まで5段階の分野に関わる技術指導・人材育成のほか、魚の料理講習においては幼児から熟年層、釣り人まで、幅広いトークと料理で魚の魅力を伝える魚の伝道師。テレビやラジオ、雑誌等各種メディアを通じて、魚の食べ方やおいしさ、日本人が魚を食べる意味を多面的に発信している。

鎌倉サカナヤマルカマアドバイザー、日本調理師会食育指導員講師、水産庁水産復興アドバイザー、元東京海洋大学客員教授。

著書・監修に「ウエカツの目からウロコの魚料理」(東京書籍)、「うまい! はやい! ヘルシー! 毎日さかな生活」(NHKテキスト2025)、「旬を愉しむ 魚の教科書」「旬の魚カレンダー」(宝島社)、「おいしい魚ずかん」(金の星社)、「子供が食いつく魚レシピとヒミツ」(メイト)、「オトコの釣りメシレシピ」(玄光社)など。

テレビ出演「あさイチ」「おはよう日本」「うまいッ!」「趣味どきっ!」「クローズアップ現代」「所さん! 事件ですよ」(左記NHK)「ソロモン流」「情熱大陸」「世界一受けたい授業」(左記民放)など。ラジオ出演「ラジオ深夜便」「ごごカフェ」(左記NHK)ほか。

ファシリテーター

行平 真也

九州産業大学 地域共創学部
地域づくり学科 准教授

Yukihira Masaya

1984年生まれ。大分県大分市出身。

長崎大学水産学部を卒業後、九州大学大学院を中退し、大分県庁に水産職として入庁。水産振興課、農林水産研究指導センター水産研究部、中部振興局などで勤務し、特に中部振興局では臼杵市の水産業普及指導員として、特産魚「カマガリ」の認知度向上などに取り組む。その後、大分県庁を退職し、山口県の大島商船高等専門学校商船学科に着任。

2019年4月から九州産業大学地域共創学部地域づくり学科に勤務し、「水産マーケティング論」などの講義を担当している。現在、総務省地域力創造アドバイザー、臼杵市漁業振興コンサルタント、津久見市観光協会アドバイザー、山口県宇部市「うべ産水産物官民連携プラットフォーム」などを務め、各地で水産振興に関する実践的な取り組みを展開している。

臼杵市での活動は『魚で、まちづくり!—大分県臼杵市が取り組んだ3年間の軌跡—』(海文堂出版)にまとめられている。



事例発表 登壇者紹介 ※登壇順に記載

佐伯市:農業

小田開発工業株式会社
代表取締役社長

小田 剛史



佐賀大学卒業後、家業である小田開発工業(株)に入社。2009年、代表取締役社長に就任。今年度よりキウイ栽培で大分県と協定を結び、農業に参入。耕作放棄地を活用した米作りにも取り組み、キウイ栽培に向けた準備をスタートした。

延岡市:水産業

株式会社日高水産 代表取締役

日高 慎太郎



専門学校卒業後、平成9年に家業の(有)日高水産に入社。ちりめんの漁獲から加工までを担う水産加工業の4代目。平成30年、(株)日高水産代表取締役に就任。漁獲量が激減する中、4年前から小売向けの商品開発に着手し、シラス専門の商品を展開中。

日向市:林業

河内造林 代表

河内 宏祐



平成25年に耳川広域森林組合に入組、森林整備事業(造林・下刈・経営計画)などを担当。主伐が進み再造林が追いつかない現状に、将来の林業へ少しでも貢献したいと考え、令和6年に河内造林を設立。「伐ったら植える」を少しでも多く実現していく。

佐伯市:林業

南部地域苗木生産者協議会 会長
春山林産 代表

春山 昌信



約20年間マルミヤストアに勤務。うち10年間青果を担当し、その後店長を務める。平成26年に南部地域苗木生産者協議会を設立し、杉苗の生産を開始。令和7年に12万本を出荷。3年後には20万本出荷を目標に、親子で奮闘中。

津久見市:農業

MIKANOVA 代表

水本 純平



令和4年から3年間、地域おこし協力隊として活動。生産者と共に「つくみかん堂」を設立し、津久見産みかんなどを使ったオリジナル商品を販売。本年11月から柑橘生産者として就農。新規担い手の確保など、多方面から津久見の柑橘産業を後押しする。

臼杵市:農業

大分有機かぼす農園株式会社
代表取締役

國枝 剛



35歳で大分県に帰郷。平成22年にかぼす生産を開始し、1年後に法人登録。生産から加工販売まで一貫した体制を整え、全国へ有機かぼすの販路拡大を行う。日本で初めてEUへかぼす青果を輸出した。

浪井丸天水産 代表

浪井 大喜



ブリ養殖の自社ブランド「若武者」を立ち上げ、自社養殖のハマチ・ブリの加工・販売を促進。ICT活用による業務の効率化や働きやすい環境作りなどが評価され、令和7年度 農林水産祭で「天皇杯」を受賞。若手リーダーとして水産業を牽引する。

佐伯市:水産業

連携都市
FIVE stars CITY

